

大分教育事務所訪問②-47 (計 120)

大分市立敷戸小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、学校の教育目標達成のために、研究部と生活指導部の2部会が、学校経営計画表にある重点的取組の取組指標と達成状況に加え、さらに具体的な教職員の指導内容と、そのことによる子どもの変容について各学年毎に分析し、最終目的である「目指す子どもの姿」になっているかを毎月確認していることです。(一点突破シート)

また、「目指す子どもの姿」である「友だちの話を聞いて反応ができる子ども」等も、数値目標(定量化)だけでなく、「あいづちをする」等具体的にどのような行動ができればよいのかを(定性化)を示すことで達成状況の把握ができ、子ども達の意識づけにつながります。また、若手の教職員も取り組めるように、「相互指名をする」等の指導の具体例も示すことで、全職員で共通した実践を行っています。

授業から学ぶ

どの教室からも、先生方の温かい言葉が聞かれました。2年生や3年生の教室では、頑張っている子どもの姿をみんなに示すことで、授業の規律を教えている指導は見事でした。5年生は自然と学び合いができていました。とりわけ特別支援学級では、全員で学ぶ場と個別に学ぶ場を設定し、子ども達は自ら課題に取り組んでいました。正に、個別最適な学びと協働的な学びの実践を参観することができました。

また、指導案の「振り返り」は、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記をされていました。今後とも、そのような教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思われました。



NO.540 2021年11月 大分市立敷戸小学校

目と耳と心で

友達の説明を全身で受け止める。だから、発表者と同じ気持ちになれる。



NO.538 2021年11月 大分市立敷戸小学校

対峙する

無言で床を磨きながら自分と対峙する。だから、周りに流されない。



NO.541 2021年11月 大分市立敷戸小学校

自然に学び合い

困ったときに聞くことができる。できた時には確認することができる。いつも、笑顔で聞いてくれる。そんな仲間が教室にいる。



NO.539 2021年11月 大分市立敷戸小学校

切磋琢磨

時に競い合い、励まし合い、認め合うから、成長するのだ。